

（解答上の注意） 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

一 次は『高等学校学習指導要領（平成三十年三月告示）』に示された、書道Ⅰの目標について記述したものである。空欄①～④にあてはまる語句をそれぞれア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。また、空欄⑤については適切な言葉を漢字で答えなさい。

書道の幅広い活動を通して、書に関する ① を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、 ② などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書の下さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を ③ する心情を育むとともに、感性を高め、書の ④ に親しみ、書を通して心豊かな生活や ⑤ を創造していく態度を養う。

- | | | | | | |
|---|---------|-----------|----------|----------|---------|
| ① | ア 興味・関心 | イ 共通事項 | ウ 見方・考え方 | エ 鑑識眼 | オ 知識・技能 |
| ② | ア 多様性 | イ 効果 | ウ 効用 | エ 歴史的価値 | オ 場面 |
| ③ | ア 鑑賞 | イ 学習 | ウ 尊重 | エ 継続 | オ 愛好 |
| ④ | ア 多様な表現 | イ 創造的な諸活動 | ウ 伝統と文化 | エ 美とその価値 | |
- オ 基礎的な諸活動

二次の(1)～(5)の図版を見て、作品名を漢字で答えなさい。また(1)、(3)、(5)については作者も漢字で答えなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

三 書 の学習方法に関して、(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文章を読み、空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句をそれぞれ漢字で答えなさい。

過去の優れた筆跡を手本として書くことを ① といいます。

① をするとき、古典の字形・用筆を忠実にまねて書く方法を ② といい、古典に漂う雰囲気や筆意など、形以外の要素を捉えて書く方法を ③ といいます。また、古典をよく学んだうえで、書くときにはそれを見ないで書く方法を ④ といいます。

なお、そうして学んだ古典の特徴や技法を生かして、その古典とは別の語句を書くことを ⑤ といいます。

(2) 書の古典には、肉筆のほか拓本が手本に使われる。石碑などの全体を拓本に採ったものを整本または全搨本というが、それをさらに一行ごとに切って冊子に装丁したものを何とよぶか、漢字で答えなさい。

四 篆刻に関して、(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の印影には何と書かれているか、漢字（新字体）で答えなさい。

(2) 木簡や竹簡に書かれた文書などを封じる粘土に印を押し付け、開封を禁じると同時に、浮きでた印文から発信者を示した、この粘土塊を何とよぶか、漢字で答えなさい。

検査Ⅲ 書道

五 次の図版ア～エを見て、
(1)～(5)の問いに答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

- (1) ① 図版ア～エは全てあるひとつの歌集を書写したものである。歌集名を漢字五字で答えなさい。
② 示された図版ア～エの中で一番古いとされているものはどれか、記号で答えなさい。

(2) 図版アについて次の問いに答えなさい。

- ① 図版アは、三人の能書による分担書写であると推定されるもののひとつである。こうした書き方を何とよぶか、漢字で答えなさい。
② 図版アを含むこの古筆は、推定される筆者のちがいにより第一種、第二種、第三種と呼び分けられている。図版アは第何種にあたるか答えなさい。

(3) 図版イについて次の問いに答えなさい。

- ① 傍線部(a)は誰か、漢字で答えなさい。
② 傍線部(b)は暦の上で何を指すか、漢字二字で答えなさい。

(4) 図版ウについて次の問いに答えなさい。

- ① この古筆を所蔵したと伝えられる人物は誰か、漢字で答えなさい。
② ①の人物は「寛永の三筆」の一人に数えられるが、あとの二人は誰か、それぞれ漢字で答えなさい。なお解答の順序は問わない。

(5) 図版エの傍線部(c)の字源をすべて答えなさい。

六 次の図版の傍線部(ア)について、書き下し文が「亦将に斯の文に感ずる有らんとす。」となるよう、訓点を施しなさい。(送り仮名は不要)